



文化遺産を歩いて体験 歴史の道ウォーキング

史跡地などを歩いて訪ねる「歴史の道ウォーキング」が9月23日、柳之御所資料館を発着点に開かれました。

開催8回目を迎えた同ウォーキング。晴天の下、町内外から約100人が集まって行われました。

10班に分かれて出発した参加者は、観光ボランティアや町文化財調査員のガイドを熱心に聞きながら、柳之御所遺跡や中尊寺、毛越寺、無量光院跡など15カ所を歩いて巡り、奥州藤原氏時代の平泉に思いをはせていました。



町婦人消防協力隊が初の受賞 県幼年婦人防火委員会会長表彰

町婦人消防協力隊(齋藤修子隊長)がこのほど、19年度県幼年婦人防火委員会の会長表彰(優等婦人消防協力隊)を受賞し、9月19日に町長から表彰状の伝達を受けました。

人命と財産、貴重な文化財を火災から守る地道な活動が認められました。おめでとうございます。



歴史と文化を楽しく学ぶ わくわく平泉学スクール

町内の小・中学生が平泉の歴史と文化を学ぶ「わくわく平泉学スクール」が9月6日、11日、12日の3日間、毛越寺などで開かれました。

今回は平泉中の1年生が、座禅や写経、発掘作業を体験。平安時代の平泉に思いをはせながら、歴史と文化を楽しく学んでいました。



森作りの大切さを知る いわての森林の感謝祭

県民参加の森林作りを目指す「第1回いわての森林の感謝祭」が9月21日、西行桜の森で開かれました。

県や町の関係者、一般参加者、町内小中学校の児童生徒ら約400人が参加。開会式の後、3つのグループに分かれ、間伐作業やサクラの手入れ作業などを体験しました。間伐作業体験では平泉中1年の生徒ら約150人が、3日ほどの森林で県や森林組合の職員から指導を受けながら伐採に取り組みました。



北東北の魅力語る 高橋克彦セミナー

盛岡市在住の直木賞作家、高橋克彦さんの講演会が9月8日、平泉小体育館で開かれました。JR東日本が展開する北東北デスティネーションキャンペーンの一環。町民や県内外の旅行者ら約300人が聴講しました。

高橋さんは「もう一つの日本 北東北」と題して講演。北東北の歴史や文化に触れながら「歴史的な痕跡は少ないが、想像を巡らすことで新しい面を発見できる」とその魅力を語りました。



浄土思想や意識啓発で対談 平泉の文化遺産フォーラム

平泉の文化遺産フォーラムが9月8日、奥州市江刺総合支所で開かれました。

約150人が参加。中尊寺仏教文化研究所長の佐々木邦世さんと福島大名教授の工藤雅樹さんが、平泉の浄土思想や文化的景観、登録に向けた住民意識について対談。佐々木さんは浄土について「いろいろなお話があるが、平泉とのかかわりから言えば、奥州藤原氏が100年間、戦争をしなかったという事実が挙げられる」と説明しました。

20区婦人会が最優秀賞 平泉町花壇コンクール

平泉をきれいにする会主催の第28回平泉町花壇コンクールが8月23日に開かれ、20区婦人会が最優秀賞を受賞しました。同会の花壇では、多種類の花が立体的に、見事に開花しました。最優秀賞以外の成績は次の通りです。

【優秀賞】=▷6区婦人会▷中山間地滝ノ沢集落婦人会▷赤伏婦人会▷大佐老人クラブ福寿会▷大佐婦人会

【努力賞】=▷13区婦人会▷5区婦人会▷滝ノ沢婦人会▷つくしの会▷平石沢婦人会▷3区婦人会▷10区・西洞俊子さん

